

日本加速器学会会員の皆様

第17回年会の第2回サーキュラーをお送りします。
ご確認と周囲の皆様へ周知を、なにとぞよろしくお願い致します。

第17回日本加速器学会年会
第2回サーキュラー

第17回日本加速器学会年会
組織委員長 中村 剛
実行委員長 増田 剛正

主旨：本年会は、加速器とその応用分野の研究者・技術者が一堂に会して研究・技術の成果発表および情報交換を行い、個々の研究者はもとより研究機関相互の交流および密接な連携を促進する場を提供するものです。2004年の日本加速器学会発足以来、毎夏定期的に開催され、今回で17回目を迎えます。優れた学術的成果の発表のみならず、加速器施設の現場で働く技術者の貴重な経験を共有することで、加速器関連技術の継承と発展を目指します。加速器の応用分野の多様化に加え、専門技術の高度化と細分化が顕著な昨今、本年会の果たす役割がますます重要になってきていることは自明であり、加速器に関わる多くの研究者・技術者の参加を呼びかけるものです。

第2回サーキュラー

第1回サーキュラーからの主な更新点

- ・発表申込・参加登録の詳細について
- ・企画セッション、特別セッションについて
- ・施設見学会について
- ・懇親会参加費について

※ 現在学会において新型コロナウイルス感染拡大防止等により現地開催が中止となった場合の対応について検討しています。そのため3月30日（月）11:00 としていた事前参加登録開始を4月20日（月）11:00に延期します。検討結果につきましては、年会ホームページでお知らせします。発表申込は延期せず、3月30日（月）11:00開始を予定しております。

概要

会期：2020年8月4日(火)－8月6日(木)

8月4日(火)に特別講演（一般公開）、8月7日(金)に見学会

会場：愛媛県松山市 愛媛県県民文化会館

参加資格：制限はございません。

発表資格：正会員、名誉会員、学生非会員、賛助会員所属の非会員（条件有）

※発表資格について詳細は、「発表資格」の項目をご参照ください。

主な期限：

発表申込期限： 5月11日（月）24時（発表申込開始 3月30日(月)）

事前参加登録期限： 7月13日（月）17時

発表スライド事前アップロード期限： 8月 2日（日）24時

プロシーディングス提出期限： 8月 3日（月）24時

※編集作業の効率化のため、提出期限に間に合わないプロシーディングスは受け付けません。御了承下さい。

URL：<https://www.pasj.jp/dai17kainenkai/index.html>

発表対象：加速器とその応用に関すること

発表申込：3月30日（月）11:00 - 5月11日（月）24:00

発表申込時にアブストラクトを提出していただきます。

申込期限厳守をお願い致します。

発表資格：原則として正会員でも名誉会員でもない（以下、非会員と略記）年会参加者の発表は認めません。ただし、以下についてはその限りではありません。

○ 学生非会員の発表は認めます。

○ 賛助会員の企業の場合は、以下のように会費口数に応じて、または発表費を支払うことにより、非会員の発表を認めます。

・ 5口までは1人、5口を超える分1口につき1人の非会員発表を認めます。

・ 上記会費口数により許される人数以上の非会員発表は、賛助会員または発表者が1人当たり1万円の発表費を支払うことにより、これを認めます。

※入会方法：非会員で発表申込みをされる方は、先にご入会をお願いします。会員になって頂くには、学会ホームページ(<https://www.pasj.jp/nyuukai.html>) よりオンラインでお申し込みいただくか、または入会申込書をダウンロード頂き、ご記入後に本サーキュラーの末尾にあります学会事務局宛てにEメールでお送りください。その後、会費の振込書類をお送りさせていただきますので入金をお願い致します。なお、ご入会に際しては1週間程度の審査期間がございますので、余裕を持ってお申込みください。

プロシーディングスと発表スライド提出：事前に年会のWebページ経由でのみ受け付けます。プロシーディングスの提出期限は、年会開始前日の8月3日(月) 24時です。期限後に提出頂いたプロシーディングスは受け付けません。発表スライドファイルの事前アップロード期限は年会開始前日の8月2日(日) 24時です。提出期限厳守をお願い致します。アップロードできるファイル容量は20MB以下です。

プログラムのカテゴリ：次のカテゴリを予定しています。発表申込時に、第1希望、第2希望を、ご選択いただくことになります。

「電子加速器」、「ハドロン加速器」、「光源加速器」、「ビームダイナミクス・加速器理論」、「加速器技術（粒子源）、（加速構造）、（高周波源・LLRF）、（電磁石と電源）、（ビーム診断・ビーム制御）、（加速器制御）、（レーザー）、（真空）」、「加速器応用・産業利用」、「加速器土木・放射線防護」、「萌芽的加速器技術の提案」

注）「萌芽的加速器技術の提案」では自由な発想からのイノベーションを目的として、加速器のハード、ソフト、関連する幅広い研究対象について斬新的・新奇的な研究発表を募集いたします。ポスター及びショートプレゼンテーションで発表頂きます。自由な発想の提案奨励のため、他の発表に比べ研究が未完でも許容します。経験、年齢、所属を問わず奮ってご応募下さい。

研究発表の形式：発表形式には、一般口頭発表、一般ポスター発表、施設技術報告ポスターの3種類があります。ポスター発表は3日間行う予定です。

*一般口頭発表、一般ポスター発表については、発表申込時にプログラムカテゴリから第1、第2希望を選択してください。

・発表形式およびカテゴリの選択はアブストラクトを参考にプログラム委員会で行います。

・発表者への連絡は6月中旬から下旬頃となる見込みです。

・一般口頭発表、ポスター発表とも、希望された型式と異なる形式とさせていただく場合があります。予めご了承ください。

*口頭発表の申し込みは発表者1人につき1件までと制限させていただきます。

・口頭発表のスライドは公開予定です。

・公開の可・不可については別途お伺いします。

*各施設での加速器の運転状況やトラブル例などの報告は施設技術報告ポスター展示で

お願いします。

- ・施設に関する報告であっても進行中のプロジェクト等に関する発表は、一般口頭発表、一般ポスター発表に申し込んでいただいてもかまいません。
- ・施設技術報告ポスター展示は常設とします。
- ・一般ポスター発表と同様に、発表者または責任者を明示したアブストラクトとプロシーディングスの提出をお願いします。
- ・ポスターセッションのコアタイムには説明者が常駐して下さい。

論文形式：アブストラクト

アブストラクト提出と発表申込は一体となっています。参加登録・発表申込ページの左側メニューの「発表申込要領」から申し込んで下さい。タイトル・著者・所属と発表内容について全角600字以内（半角1200字以内）で入力していただきます（和文・英文どちらでも可）。

アブストラクトはプログラム詳細構成決定に利用するとともに、プログラム確定後はWEB上で公開されます。会場受付でプログラム集を配付致します。（アブストラクト集は第16回年会から廃止いたしました。）

論文形式：プロシーディングス

論文は英文・和文を問いません。1件あたり2-5ページで、和文・英文どちらでも可です。論文のフォーマットは、和文の場合は年会Webページ*1から、英文の場合はJACoW形式としJACoWのWebページ*2から、最新のテンプレートをダウンロードしてお使いください。作成に当たってはテンプレートからの逸脱が無いようご注意願います。

*1 <https://www.pasj.jp/templates.html>

*2 <https://www.jacow.org/index.php?n=Authors.HomePage>

提出は、プログラムが確定した後に行えます。提出期限は **8月3日(月) 24時**です。PDF ファイルとソースファイル（WORD またはTeX）を提出して下さい。期限後に提出頂いたプロシーディングスは受け付けません。配布はWEBからのダウンロードのみといたします。

発表要領：詳細はプログラム確定後、お報せします。

日本加速器学会年会賞：研究活動・研究者生活の初期段階にある、学生および若手研究者を奨励することを目的として、第17回日本加速器学会年会賞（口頭発表部門、ポスター部門）を設けます。以前に受賞された方は、口頭・ポスターの別にかかわらず受賞対象外です。受賞者は申込み段階で加速器学会会員または学生会員であること（発表当日までに入会手続きを完了していること）を条件に致します。研究初期段階および若手を支援するという趣旨のために事務局から年齢やキャリアをお尋ねすることがあります。審査希望者は発表申込時にエントリーしてください。また、審査の対象となるのは発表内容ですが、期限までのプロシーディングスの提出を審査の条件といたします。なお、受賞者の発表と表彰が行われる閉会式には原則として出席してください。多くの応募をお願いします。

なお年会賞への応募は口頭・ポスターにかかわらず、発表者1人につき1件まで、また、以前に受賞された方は口頭・ポスターの別にかかわらず受賞対象外とさせていただきます。

事前参加登録期間：4月20日（月）11:00 - 7月13日（月）17:00

スムーズな学会運営のため事前登録・事前支払いへのご協力お願い致します。

参加費支払い：専用のWebページにてお支払い頂きます。クレジットカード払い、コンビニエンスストア払い、ペイジーでの振り込みをお選びいただけます。事前支払い期限は事前登録期限と同様、7月13日（月）です。

参加費：

事前支払／当日支払

会員（一般）	7,000 円／ 8,000 円
会員（学生）	2,000 円／ 2,500 円
非会員（一般）	9,000 円／10,000 円
非会員（学生）	4,000 円／ 4,500 円

企画セッション：テーマ1「パワー半導体」

日時：8月6日（木）

会場：愛媛県民文化会館 メインホール

講演：「SiC パワー半導体技術の最前線」

講師：田中 保宣（産業技術総合研究所 先進パワーエレクトロニクス研究センター）

企画セッション：テーマ2「加速器施設の廃止措置」

日時：8月6日（木）

会場：愛媛県民文化会館 メインホール

講演：「加速器施設の放射化」

講師：松村 宏（高エネルギー加速器研究機構 放射線科学センター）

※従来の技術研修会は大きな枠での企画セッションの一部と定義されることになりました。これを受けて本年会より「技術研修会」の名称は使用しておりません。上記企画セッションは従来の技術研修会と同様の講演と考慮いただき、差し支えありません。

特別セッション：

日時：8月5日（水）15:10-16:10（予定）（変更の可能性あり）

会場：愛媛県民文化会館 メインホール

テーマ「加速器と安全保障研究」

内容：日本学術会議の声明「軍事的安全保障研究に関する声明」（2017年3月24日付）を受け、日本加速器学会評議員会に設置したタスクフォースでの議論の内容及び昨年11月に実施した会員へのアンケートの結果を踏まえた討論を行うため、本年会において特別セッションを実施する。

特別講演：

日時：8月4日（火）18:30-20:00（予定）

会場：愛媛県民文化会館 メインホール

講演：「地球のなかに、潜っていくと・・・」～放射光と超高圧実験で探る地球の内部～

講師：入船徹男（愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター センター長・教授）

施設見学会：8月7日(金)

1. 松山市内 A コース（人数制限 50 名）

・ 愛媛大学 地球深部ダイナミクス研究センター（松山市文京町 2-5）

地球深部研究のための超高圧発生装置等の見学、愛媛大学ミュージアム見学
スケジュール（予定）

9:50 愛媛大学に集合

12:00 頃 愛媛大学で解散

2. 松山市内 B コース（人数制限 100 名）

- ・ 三浦工業（松山市堀江町 7 番地）

新ショールーム（ボイラ実証システム、軟水体験など）および工場見学

- ・ 井関農機（松山市馬木町 700 番地）

工場見学（トラクタ製造ライン、ギャラリー見学など）

スケジュール（予定）

9:00 愛媛県県民文化会館前に集合

12:10 頃 愛媛県県民文化会館に到着

3. 新居浜コース（人数制限 100 名：民間企業の方は 1 社 1 名まで）

- ・ 住友重機械工業（新居浜市惣開町 5 番 2 号）

クリーンショップ（治療機種、診断機種）見学

スケジュール（予定）

8:40 愛媛県県民文化会館前に集合

12:00 頃 住友重機械工業発

12:15 頃 JR 新居浜駅着

13:35 頃 松山空港着

14:00 頃 JR 松山駅着

14:20頃 愛媛県県民文化会館着

施設見学の申し込みは[参加登録ページ](#)からお願いいたします。

懇親会： 8 月 5 日(水) 大和屋本店 大和の間

URL <https://www.yamatoyahonten.com/guide/access.html>

懇親会参加費（申込方法、事前支払期限は年会参加に準じます）

事前支払／当日支払

一般 6,500 円／ 7,500 円

学生 3,000 円／ 4,500 円

宿泊予約：宿泊施設の予約は各自でのご手配をお願いいたします。早めの予約をお勧めします。

託児所：会場施設内に託児所を開設する予定です。実行委員会で事前準備の必要がありますので、ご利用を予定されている場合は、年会Webページより、事前参加登録期限内にお申込みください。

連絡先：日本加速器学会年会ヘルプデスク

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

Email：pasj-desk@bunken.co.jp

FAX：03-5227-8632